

講演 5

医療機関と保険薬局の連携推進 DVD の制作と 連携の課題

松井礼子（国立がん研究センター東病院薬剤部）

長久保久仁子（メディカルファーマシーミキ薬局）

医療機関と保険薬局の連携推進 DVDの制作と連携の課題

松井礼子（国立がん研究センター東病院薬剤部）
長久保久仁子（メディカルファーマシーミキ薬局）

1

本日のテーマ



- ✓ 地域医療連携推進DVD作成の経緯
- ✓ 地域医療連携推進DVDアンケート調査
- ✓ DVD上映
- ✓ 地域医療連携への課題

2

本日のテーマ



- ✓ 地域医療連携推進DVD作成の経緯
- ✓ 地域医療連携推進DVDアンケート調査
- ✓ DVD上映
- ✓ 地域医療連携への課題

3

○ 地域医療連携推進DVD作成事業（平成28年）

地域医療連携（薬業連携）推進企画

「病院薬剤師と保険薬局薬剤師の相互理解のために（薬局編）」

「病院薬剤師と保険薬局薬剤師の相互理解のために（業務紹介編）」



4

① 病院薬剤師と保険薬局薬剤師の相互理解のために （業務紹介編）



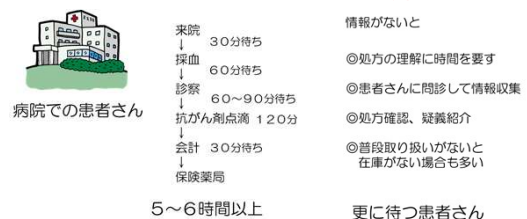
実際に画像で写し出す事で
百聞は一見にしかず。実感して業務に活かせる

5

② 病院薬剤師と保険薬局薬剤師の相互理解のために （薬局編）



地域医療連携（薬業連携）での失敗例を題材に 失敗しないための連携



実際のドラマ仕立てで写し出す事で
医療機関と保険薬局の連携の実際とその対策を知る

6


平成26年保険薬剤師病院見学会（試行運用）

日本臨床腫瘍薬学会で募集

- 見学施設数：7施設
- 見学参加人数：33名

見学内容
医療機関のがん治療の流れ
抗がん剤のチェック体制、検査値の管理方法、
院内でのがん患者への病院薬剤師の介入
化学療法患者への服薬指導方法、患者指導用資料、副作用マネジメントの実際。

見学施設	参加人数
国立がん研究センター東病院	10
国立がん研究センター中央病院	8
東京医療センター	5
東邦大学医療センター大橋病院	4
神戸大学医学部付属病院	3
愛知県がんセンター中央病院	2
北海道がんセンター	1



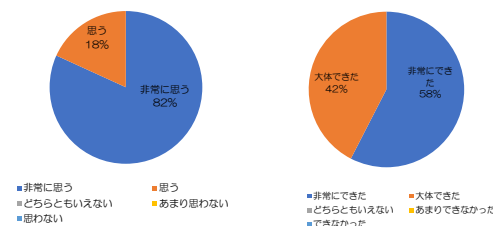
7

病院見学会アンケート調査

アンケート回収率：見学时100%（33名）
3か月後63.6%（21名）

**がん患者への介入や薬薬連携を進めらう
えて見学会に参加することは有用だと
思いましたか？**

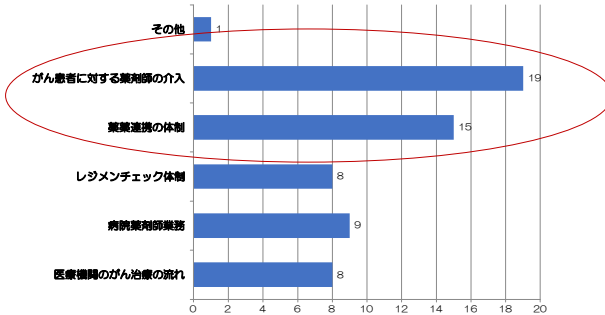
**がん治療における
病院薬剤師の役割を知ることができ
ましたか？**



医療機関と薬局の連携を進めるには
がん治療を行っている施設とその病院薬剤師を
知るのには有用

8

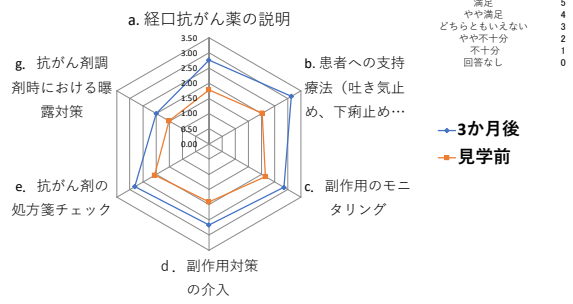
見学しておくべき一番重要な項目は 何だと思われましたか？



N=33（複数回答）

9

抗がん剤治療に関するご自身の実施状況の満足度



病院見学の経験から患者対応への満足度が上昇！

10

○ 地域医療連携推進DVD作成事業（平成28年）

地域医療連携（薬薬連携）推進企画

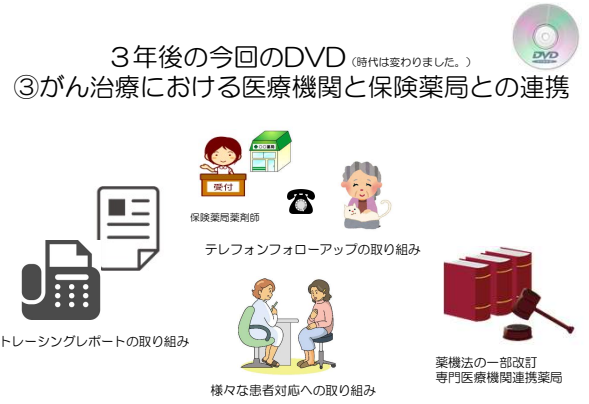
- ①病院薬剤師と保険薬局薬剤師の相互理解のために（薬局編）
- ②病院薬剤師と保険薬局薬剤師の相互理解のために（業務紹介編）



11

3年後の今回のDVD（時代は変わりました。）

③がん治療における医療機関と保険薬局との連携



モデルとなる様な医療機関と保険薬局の連携を表現

12

【制作協力者】

○遠藤一司	KKR札幌医療センター 薬剤科
片倉 法明	つくし薬局 光が丘店
川澄賢司	国立がん研究センター東病院
下村直樹	日本調剤 柏の葉公園薬局
田中 康裕	慈生会 等潤病院
長久保久仁子	ミキ薬局 日暮里店
縄田修一	昭和大学横浜市北部病院
松井礼子	国立がん研究センター東病院
村田勇人	クオール薬局 港北店


五十音順

制作・著作 一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会

この映像は以下の調査事業費
令和元年度厚生労働行政推進調査事業費
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)
「かかりつけ薬剤師・薬局の多機関・多職種との連携に関する調査研究」
(H30-医薬-指定-008)

13

本日のテーマ



- ✓地域医療連携推進DVD作成の経緯
- ✓地域医療連携推進DVDアンケート調査
- ✓DVD上映
- ✓地域医療連携への課題

14

DVDアンケート(大学編)

15

平成 31 年 2 月

薬科大学長・薬学部長 殿

DVD「病院薬剤師、保険薬局薬剤師の相互理解」についてアンケートのお願い

平素より薬学および薬学教育の充実・発展にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年 6 月 22 日に開催された全国薬科大学長・薬学部長会議の中で、「病院薬剤師、保険薬局薬剤師の相互理解」と題する 2 枚組 DVD を各大学に配布させていただきました。本 DVD は、病院と薬局の連携を担う薬剤師の養成に向けて、病院におけるがん患者に対する診断・治療・指導業務と薬局における業務の課題を解説したもので、厚生労働行政推進調査事業補助金により制作されました。研究社では、本 DVD を実務教育の準備教育等の薬学教育でご利用賜りたく、全国の薬科大学・薬学部に準備をさせていただいた次第です。

つきましては、DVD を視聴いただいた感想、薬学教育での利用状況等に関するアンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。調査結果は、研究社の報告書等に公開する予定ですが、個別の大学名を挙げることはありません。

本調査は、平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業補助金「かかりつけ薬剤師・薬局の多機関・多職種との連携に関する調査研究」として実施しています。本調査の進捗をご連絡いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業補助金
「かかりつけ薬剤師・薬局の多機関・多職種との
連携に関する調査研究」
研究代表者 望原 眞人

<アンケートに関する連絡先>
長久保 久仁子
e-mail : nagakubo132@miki.nip

16

回答用紙

お手数ですが、同封した返信用封筒にて 3 月 1 日までにご返信をお願いします。

以下の欄で該当するものを選択または記載してください。

問 1 貴大学名について教えてください

問 2 本 DVD を学生に視聴する機会がありましたか?

問 2-1 業務内容

問 2-2 視聴した学生

問 2-3 DVD を視聴した学生は内容に関心を示しましたか?

DVDを教育の一環として活用することの
有用性を調査

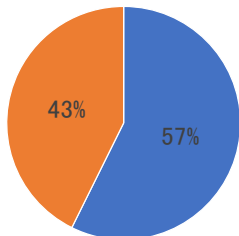
問 3 DVD を学生に視聴するにはどの時期が有用と考えますか?

問 4 ご回答内容に関して、問合せさせていただく場合のご連絡先をお教えください。

17

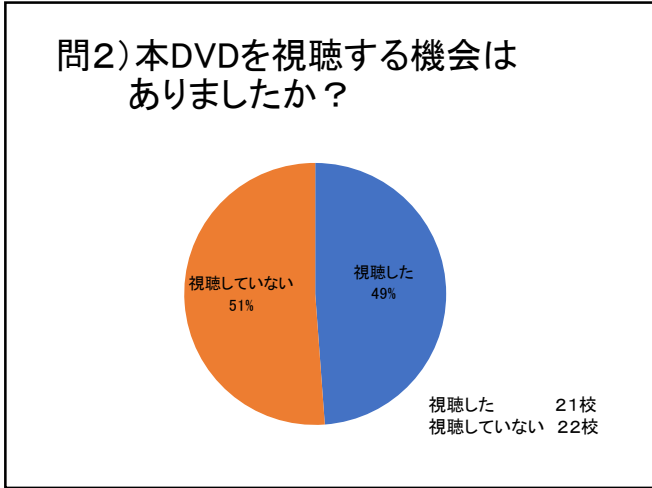
アンケート回収率

- 回答あり43校 (75校へ配布) 57%

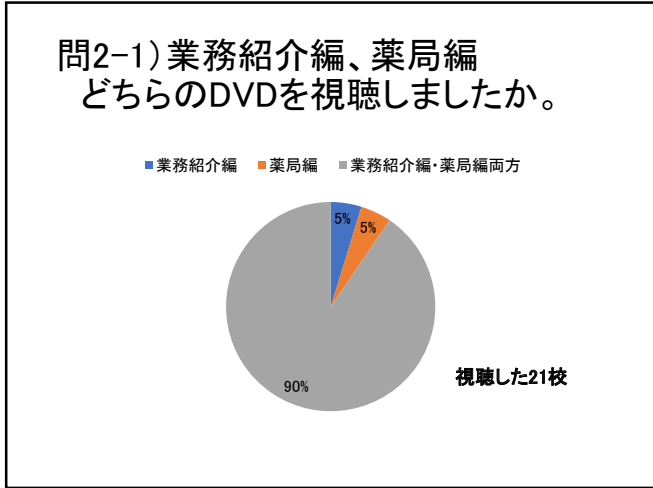


■ 回答あり ■ 回答なし

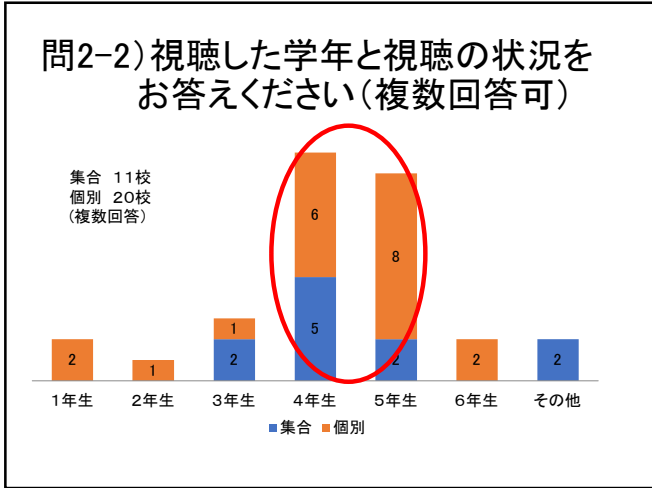
18



19



20



21

問2-2)視聴した学年と視聴の状況をお答えください(複数回答可)

その他の回答

- 一般の方
 - 目的: 薬剤師の仕事を知ってもらうため
- 実務教員

今後の参考に!

22

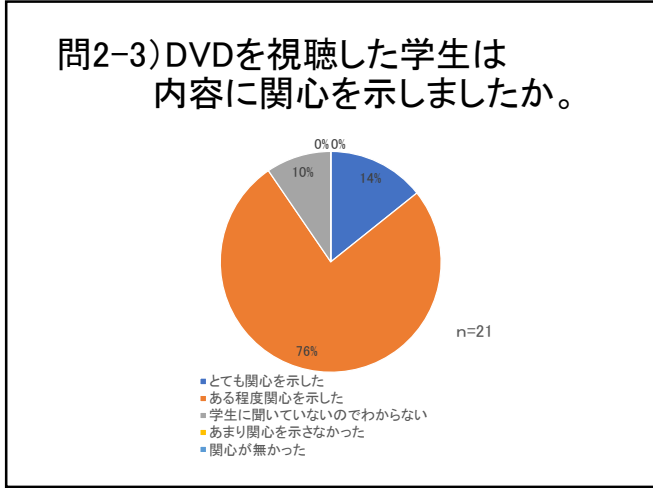
問2-2)視聴の目的について

- 業務理解の目的で(4年生集合、5年生集合)
- 早期臨床体験Iの一環(1年生個別)
- 薬剤師についての理解をより深めるため(5年生個別、6年生個別)
- 実務事前学習(3年生集合、4年生集合)
- 実務実習事前学習(4年生集合)
- 実務実習を終えた学生5名と視聴し感想を聞くため(5年生個別)

実務実習の前後(4年生・5年生)に活用

- タイトルを見せ希望者に視聴(5年生)
- DVD評価のため視聴(5年生個別)
- 研究室セミナーの一環として(3年生集合、5年生集合)
- 研究室セミナー(4年生個別)
- 職業としてよく考える(5年生個別)
- 能動学習(4年生個別)
- 学習と啓発(1年生~6年生個別)
- 実務実習への意識付け、動機づけのためのトライアルとして(4年生個別)

23



24

問2) 視聴していない理由

- 図書室で視聴可能としているが希望者なし
- 日程上、機会がなかった、機会を逃した
- 視聴する時間が取れませんでした
- 今年度はカリキュラム上、視聴する機会を作ることができなかったため
- 時間が取れなかったため
- カリキュラム上の問題
- 情報量が少なく授業に組み込む場面がなかった
・・・等々

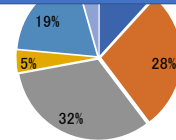
25

問3) DVDを学生が視聴するにはどの時期が有用と考えますか (複数回答可)

視聴する時期

- 早期体験実習(1年生)
- OSCE前の事前学習(4年生)
- OSCE及びCBTに合格した後の実務実習開始前

事前学習前後の4年生に有用



26

問4) ご意見・ご感想・ご要望等

- 業務紹介編は、実習終了後にみても振り返りとして役に立つ。
- 薬局編は印象はあまり良いとは言えなかった(特に最初の対応の部分) 良い対応と悪い対応を対比させると良いかもしれない。「医者がいつもこんな様子だ」というような場面があったがこれも不適切かもしれない。
- 薬局編は患者の心情をよくとらえており、実務実習前の視聴はとても効果的に感じました。
- 薬局編では具体的な問題解決編があると良いと思う。インパクトのある入りだったが抽象的な対策が述べられているのが残念であった。
- どう理解し、どのように活用するか指針案があれば良いと思った。
- 今後DVD配布の際、同時にアンケートも添付していただきたい。利用する(教員の)意識も高まると思います。
- 都合により今回のDVDは回覧できなかったのですが今後は申し訳ありませんが直接大学に送っていただけるとありがたいです。

27

問4) ご意見・ご感想・ご要望等

- 学生により、実習前に見て「病院・薬局連携が大切だ」という事を理解できる学生と実習後でない何がポイントになっているのかピンとこない学生がいますので上述のように3.4を選ばせて頂きました。
- 今回は学生とのタイミングが合わず視聴に及びませんでしたが今後は病院薬剤師の理解を実習前に見せ充実した実務実習ができるようにしたい。
- 学生感想より: 知らない内容があり勉強になった。病院と薬局の内容が行来しており話の流れが速いので重要なところは大きく字幕等があると印象に残ると思う。
- 病院⇄1薬局の連携だけでなく病院⇄地域薬剤師会との連携について触れられると地域連携、包括医療の理解が深まると感じました。
- リアルに患者の様子が演出されており、実務実習前の視聴に適していると思います。

28

問4) ご意見・ご感想・ご要望等

- 本DVDはがん治療の薬業連携について病院薬剤師と保険薬局薬剤師の相互理解を深めるためには適切な資料と考えます。しかし映像では薬業連携のシステムに重点が置かれているため、がん治療の薬業連携における薬剤師の役割が見えにくく感じました。特に「薬局編」では患者さんの待ち時間を改善するために薬業連携を推進するようなイメージを学生に与え兼ねません。患者の副作用を軽減・回避するために薬業連携で情報を共有していますなどのアプローチの方が良かったと思います。今後作成するDVDにはがん治療の薬物療法に薬剤師が大きな役割を担っている、そのために薬業連携を推進している、との強いメッセージを学生に送っていただくことを期待しています。
- 専門用語や業務内容の一部で低学年(3年生)にはまだ理解できない箇所があったようです。一方、実務実習終了学生には内容が一般的で物足りないようです。また視聴対象が薬剤師なのではないかと思われる箇所があり(「我々薬剤師は・・・」のナレーションなど)何を視聴すべきか学生が迷っていました。「薬局編」の症例のインパクトが強く、学生が非常に興味を持って視聴していましたので事前学習のSGDの教材としてうまく使えそうだと感じました。視聴対象に合わせた内容になれば、低学年または実務実習前後にも使用できると思います。ただDVDのテーマは病院薬剤師業務と薬局薬剤師業務なの、連携がテーマなのかわかりにくく、それが学生の理解が今一つだった原因ではないかと思いました。それほど長いDVDではありませんので、テーマに合わせたシナリオにすれば良いのではないかと思います。1本のDVDの長さは視聴にちょうど良い長さだと思いました。

29

問4) ご意見・ご感想・ご要望等

- 病院薬剤師と薬局薬剤師の連携に関する授業、演習の開始時あるいは自己学習に活用できるのではないかと考える。また実務実習前に視聴を促すと良いと思う。
- 現在図書館で管理しポスターなどで学生に視聴するよう周知している。新カリ講義プログラムが完成した段階で諸データを精査し、効果的な利用方法を検討する予定である。
- 患者に接する薬剤師の行動として必要なことがよくまとまっていた。生徒が患者に対して行っていない行動などもわかりやすく映像でまとまっていた。今後は在宅についてさらに詳しく作成していただくと幸いです。
- 薬剤師向けに作られていて学生の教育には使いづらく感じた。知識を与えるためのビデオであればもっと体系的なものであるべきだし演習に使用するならもっと深みのあるシナリオであることが望ましいと思った。
- がん治療における病院と薬局の業務連携を具体的に理解することができた。
- 薬局DVDは患者さんとのコミュニケーションスキル学習の症例検討に適切な内容であった。トラブル事例の解決方法を考察しながら、がん化学療法を学ぶことができる。SPIKES法へステップアップして市販化を希望する。
- 業務編は大変わかりやすい内容でした。ただ病院薬剤師の業務紹介が中心になっているので、保険薬局薬剤師から見た業務のポイント紹介があると良いと思います。薬局編はトラブル回避のための内容でしたが、病院薬剤師から見た薬業連携が中心になっており、こちらも保険薬局薬剤師からの視点での「薬業連携」の紹介が必要と感じました。1年次の早期体験実習前、3年次の調剤学系講義、病院・薬局実習時に実習施設で見せても良いと思います。また卒業後新人教育にも使用できると思います。

30

問4)ご意見・ご感想・ご要望等

- ・薬局編のドラマでは、病院の先生への疑義照会しにくい点で患者に聞くことになっていたが解説では連携がうまくいっているところからの説明になっています。どのように連携していくのか詳しく解説しても良かったと思います。
- ・視聴した学生より
 - ・病院と薬局のそれぞれの薬剤師がすべきことや流れがわかりやすかった。
 - ・病院で事前に「薬局に在庫が無いことがある」と伝えることが重要であることに気づくことができました。
 - ・お薬手帳が病院と薬局の連携のポイントになっていることが分かったが、手帳を忘れてしまった際、あるいは持っていない場合にはどのように患者にアプローチするべきかもっと詳しく知りたかった。
 - ・DVD中のインタビューも、文字に起こしてほしいと思った。

31

考察

75校にDVDを配布し43校から回答を得ることができた。(57.3%)

20校の大学で学生にDVDを視聴させており、学生の反応は概ね興味があるとの回答だった。

視聴対象者は実務実習前後の4年生と5年生が最も多かった。中には、一般の方へ視聴させ薬剤師の業務紹介として役立てている学校もあった。

今回、学生に視聴させなかった大学にも教員に視聴してもらい、DVDは薬学教育において実務実習へ向かう前である4年生OSCE前の事前学習の時期(28%)やOSCE及びCBTIに合格した後の実務実習開始前の時期(32%)に活用することが有用であると回答を得られた。(合60%)

DVDについての意見や感想、要望等についての自由記載には、次回作成するDVDにおいて参考になる意見が多数あった。本DVDは本来、学生向けではなく薬剤師教育用として作成されたものだった為、物足りなさや、学生に不向きであるとの意見もあった。

「地域連携における薬剤師のあるべき姿」として参考となるDVDを作成することが望まれていると感じた。特に、SPIKES法を取り入れてステップアップし市販化を求める声もあり、これからの薬剤師に必要な対人業務におけるコミュニケーションスキルも加味した展望が期待されており、地域連携の中で活躍する薬剤師を育成するための教育用DVDの作成が求められていると考える。

32

本日のテーマ



- ✓地域医療連携推進DVD作成の経緯
- ✓地域医療連携推進DVDアンケート調査
- ✓DVD上映
- ✓地域医療連携への課題

33

本日のテーマ



- ✓地域医療連携推進DVD作成の経緯
- ✓地域医療連携推進DVDアンケート調査
- ✓DVD上映
- ✓地域医療連携への課題

34

病院薬剤師の立場より 連携の課題



個人的な意見を含みます

35

特定機能を有する薬局の認定

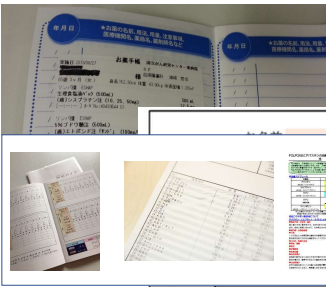
薬機法改正に向けたとりまとめ(厚労省)は、医療機関の薬剤師が中心的な役割を果たしつつも、薬局の薬剤師とも連携し患者対応をすることを望む



36

医療機関 → 保険薬局薬剤師 レジメンの共有化

お薬手帳やその他を駆使して



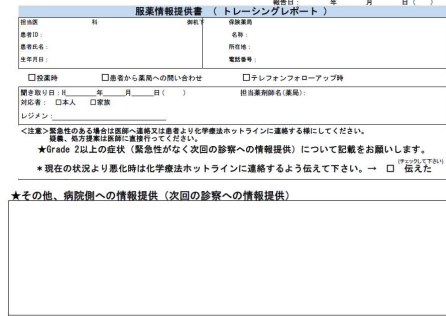
レジメンの公開
処方箋への印字
他職種も連携して情報を出す
カルテ情報の一部開示など積極的に

緊急連絡先	平日8:30-17:15 月～金曜日(祝日は除く) 外来化学療法ホットライン:04-7130-0500 平日17:15-翌朝8:30 土曜、日曜、祝日 代表番号:04-7133-1111 国立がん研究センター東病院	薬剤師
-------	---	-----

37

保険薬局薬剤師→医療機関

トレーシングレポート受け入れ体制



★その他、病院側への情報提供(次回の診察への情報提供)

外発化学療法ホットライン
受付時間 平日8:30-17:15
受付終了 04-7130-0500
★上記時間以外には下記電話番号にて対応
電話番号 04-7133-1111(内線)

施設毎に特徴を生かしたフォーム

38

病院の窓口の設置は必要
保険薬局からのアプローチなども有効



がん専門医療機関
調剤薬局
専門医療機関連携薬局
or
かかりつけ薬剤師

39

★地域がん医療研修会(年3回開催)
柏市薬剤師会と共催

平成20年9月22日から

	第29回	第30回	第31回	第32回
	H30.2.15	H30.6.21	H30.11.15	H31.2.14
	木	木	木	木
	19-21時	19-21時	19-21時	19-21時
テーマ①	慢性骨髄性白血病の薬物治療 小笠 雅人 薬剤師	胃癌治療について ～薬剤師目線での介入～ 出町 健策 薬剤師	大腸がんの治療について 田中 裕貴 薬剤師	緩和ケア はじめての一步、もう一歩 末永 巨 薬剤師
テーマ②	せん妄の評価と対応 精神科診療 小川 朝生 医師	皮膚障害に対する予防とケア 遠藤治療センター 伊藤 直美 看護師	肺癌の化学療法エキスパートからの話 肝臓科診療 池田 公文 医師	がん患者さんの対応に難しさを感じた時のアプローチ 緩和ケア 副島 沙彩心 看護師
症例提示	のぞみ花クリニック 榎原 弘樹 薬剤師	日本調剤 柏の葉公園薬局 下村 直樹 薬剤師	柏市薬剤師会 小田 文字 薬剤師	クオール薬局 港北店 村田 浩人 薬剤師
参加者数	134名	144名	139名	93名

ポイント制にし、柏市薬剤師会から勉強会参加終了証をお渡しする

40

保険薬局薬剤師研修事業

令和元年度 第1回 保険薬局薬剤師がん薬物療法研修生の募集について




congratulations

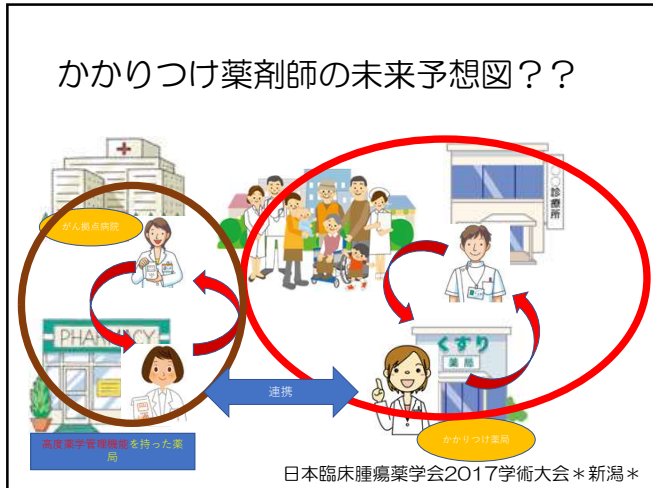
局薬剤師の養成
おられます。
を開始する運
生方からのご

41

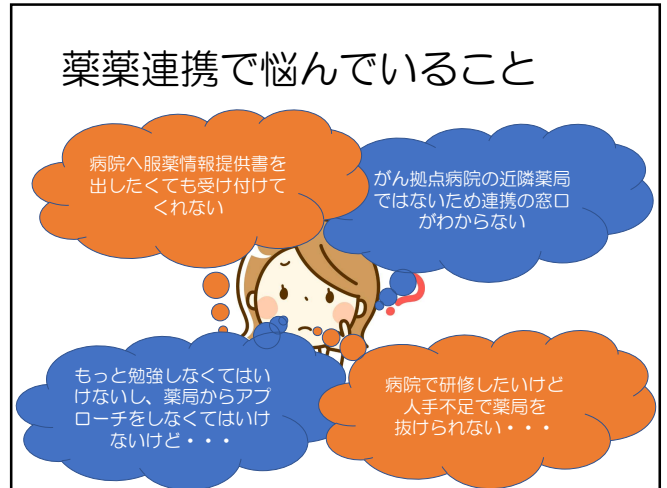
保険薬局薬剤師の立場より
連携の課題



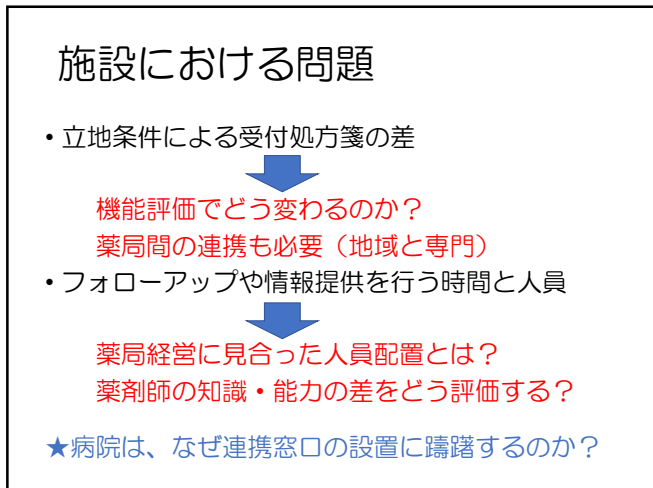
42



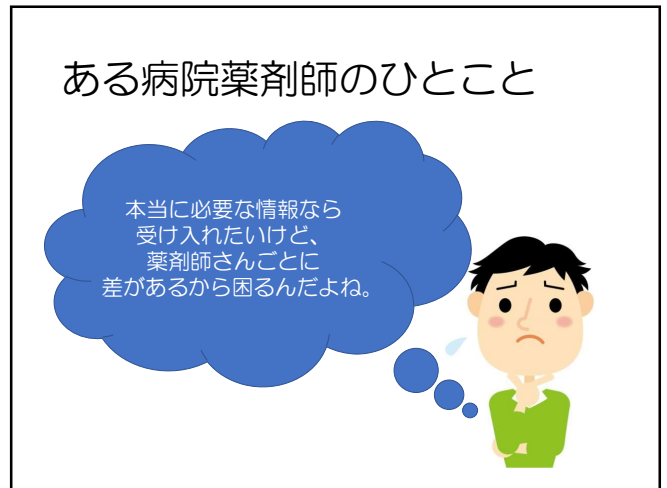
43



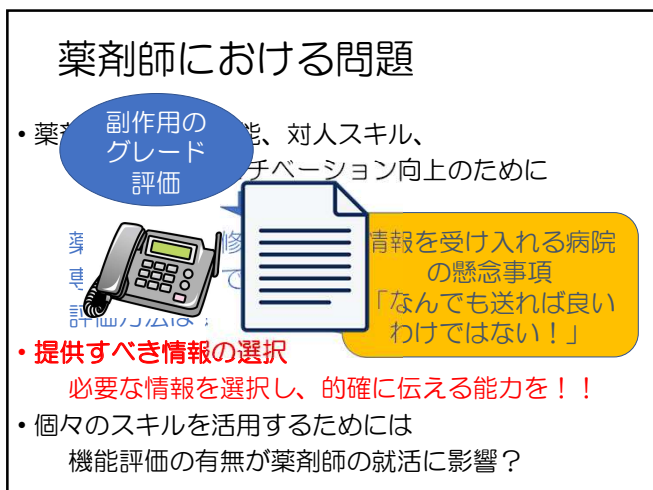
44



45



46



47



48



開会挨拶： 奥田真弘 先生



座長：高橋弘充 先生、安野伸浩 先生



講演 1： 安原真人 先生



講演 2： 佐々木 均 先生



講演 3： 小枝伸行 先生



講演 4： 村田勇人先生、縄田修一先生



座長：有澤賢二 先生、山本弘史 先生



<会場風景>



講演 5：松井礼子先生、長久保久仁子先生



<質疑応答>



閉会挨拶： 遠藤一司 先生